

「交通空白」解消に向けた取組と 見えてきた課題

令和6年11月25日（月）

「交通空白解消・官民連携プラットフォーム」第一回会合

（一社）全国自治体ライドシェア連絡協議会
共同代表 樋渡啓祐

- 一般社団法人全国自治体ライドシェア連絡協議会
- 「i-Chan」 (あいちゃん)
- 全自連直営「i-Chanキッズサポート」 始動
- 公共ライドシェア
「タクシーとの共同運営の仕組み」
- この半年で見えてきた課題

一般社団法人 全国自治体ライドシェア連絡協議会（略称「全自連」）

①住所：東京都千代田区霞ヶ関3丁目6番14号三久ビル504

②役員等：

- ・ 共同代表（理事長） 樋渡啓祐（元武雄市長）, 浅見泰司（東京大学教授）
- ・ 理事 鬼橋正敏（みどり法律事務所）, 本丸達也（リベラ株式会社）
高桑圭一（元国土交通省運輸安全委員会事務局長）
- ・ 顧問弁護士 山田卓（三番町法律事務所）
- ・ 顧問 鈴木英敬（衆議院議員）, 鈴木康友（静岡県知事）,
藤井直樹（元国土交通事務次官）

③事務局：

- ・ 事務局長 池上明子（元デジタル庁参事官補佐）
- ・ 参与 真下敬太（法律事務所ZeLo・外国法共同事業弁護士）

④目的：

公民連携及び自治体間連携等による地域公共交通の利便性向上及び持続可能性の確保を図り、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

⑤業務内容：

- ・ 地域公共交通の活性化に関する自治体及び交通事業者に対する助言支援
- ・ 所管官庁及び自治体、関係機関との総合調整
- ・ 地域公共交通に関する調査研究
- ・ 地域公共交通の担い手の育成
- ・ 地域公共交通受託事業者に対する技術的支援及び情報共有
- ・ 地域公共交通に関する刊行物の出版
- ・ 地域公共交通に関する講習会、交流会等の実施
- ・ 公共ライドシェアの普及啓発及び利用促進
- ・ 本会の目的に適合する学会・団体等への参加協力
- ・ その他当法人の目的を達成するために必要な事業

⑥設立日（法人登記）：令和6年4月1日



（参考）「全自連」事務所が入居するビル・所在地

一般社団法人全国自治体ライドシェア連絡協議会加盟自治体

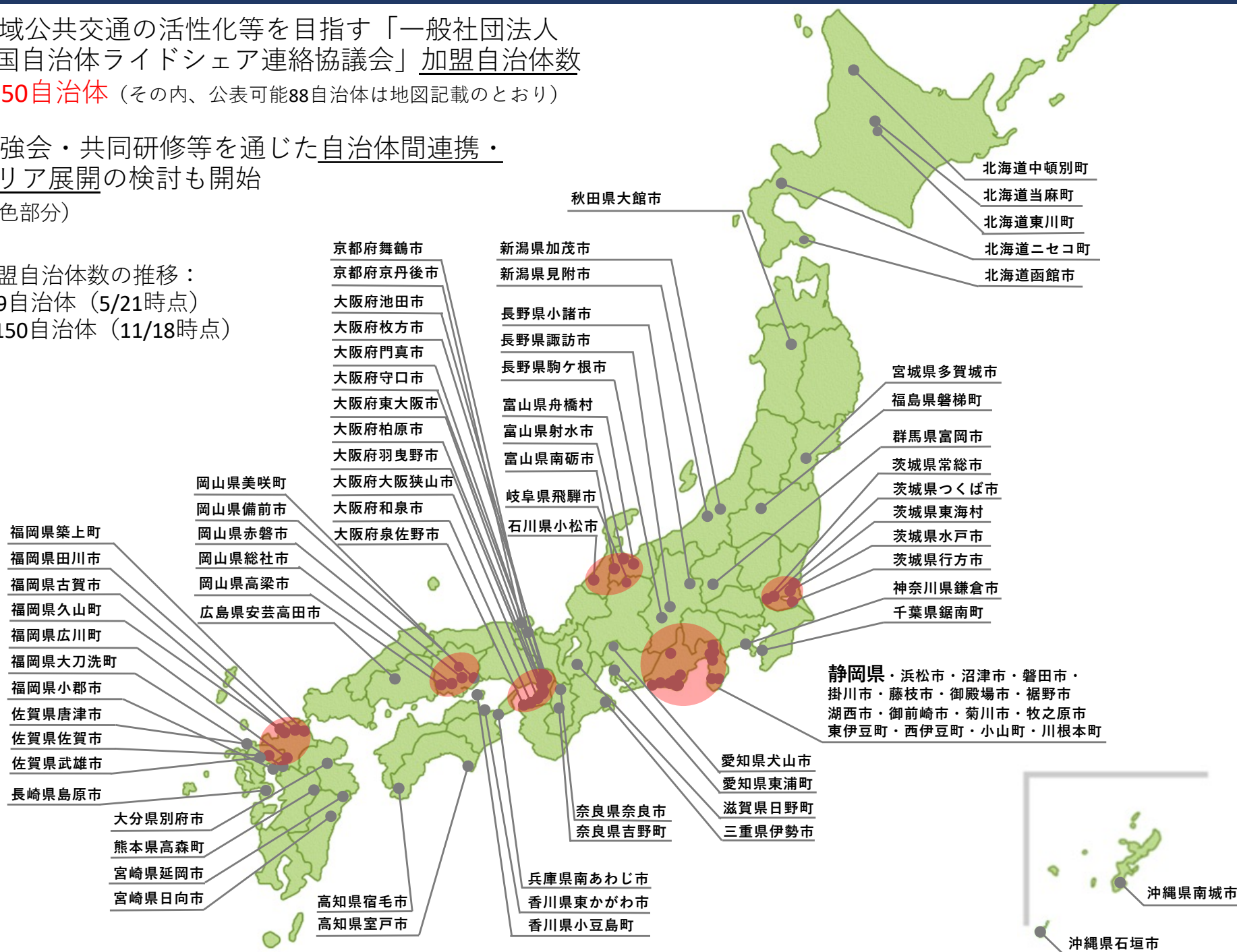
- 地域公共交通の活性化等を目指す「一般社団法人全国自治体ライドシェア連絡協議会」加盟自治体数

： **150自治体**（その内、公表可能88自治体は地図記載のとおり）

- 勉強会・共同研修等を通じた自治体間連携・エリア展開の検討も開始

（赤色部分）

※加盟自治体数の推移：
119自治体（5/21時点）
→150自治体（11/18時点）





デロイト トーマツ



GO株式会社



オムロン ソーシャル
ソリューションズ
株式会社



損害保険ジャパン
株式会社



株式会社
エスプールグローバル



トヨタファイナンシャル
サービス株式会社



- 一般社団法人全国自治体ライドシェア連絡協議会
- 「i-Chan」 (あいちゃん)
- 全自連直営「i-Chanキッズサポート」 始動
- 公共ライドシェア
「タクシーとの共同運営の仕組み」
- この半年で見えてきた課題

公共ライドシェア・共助版ライドシェア「i-Chan」(読み方:あいちゃん)

「i-Chan」

◀ 公共ライドシェア・共助版ライドシェアの愛称(認証基準あり)

- ・ 読み方: あいちゃん
- ・ iには、応募作品にも沢山使われていた「愛」、そして「私」という意味を込める。
- ・ Chan(ちゃん)は、Chance(チャンス)、Challenge(チャレンジ)を想起する意味を込めると同時に、高齢者や子どもたちが呼びやすく、日本人の文化「ちゃん、さん」が持つ親しみやすさを外国人観光客にも感じてもらう効果をもつ。

◀ 「i-Chan」ロゴマーク(認証マーク)

- ・ 優しく親しみやすい車のシルエットと特徴的な笑顔の口元。
- ・ 口元の2つの矢印の先には、乗客と運転手が居る。
- ・ 「公共ライドシェア」が、乗客と運転手を繋ぐという意味を含んでいる。



「i-Chan」先行自治体記者発表の様子(令和6年2月22日)
左から:大分県別府市(6月) 富山県南砺市(4月) 右:石川県小松市(2月)

※()内は開始月。いずれも令和6年

「i-Chan」グッズ▶

株式会社ビームスに依頼し、
i-Chanグッズを制作。
ドライバーのユニフォーム活用、
利用者の共通アイテムは制作予定。



ユニフォーム: てぬぐい



今後、てぬぐい以外も展開予定



- 一般社団法人全国自治体ライドシェア連絡協議会
- 「i-Chan」 (あいちゃん)
- 全自連直営「i-Chanキッズサポート」 始動
- 公共ライドシェア
「タクシーとの共同運営の仕組み」
- 見えてきた課題







全自連直営「i-Chanキッズサポート」提供サービス

「i-Chan キッズサポート」提供サービス

- 学習支援
- 見守り支援
- 平日夕方の移動支援
- 食事支援

※会費 1 か月500円（運営協力金として）

共助版ライドシェア（許可登録不要型）

概要

- 山間部に住む子どもの塾・習い事への送り
- 事業者の協力及びコネクティッドカー等最新技術を活用し、事務効率と安心・安全向上を実現

車両台数 4 台

ドライバー数 8 名

路線 山間部→中心市街地（路線型）

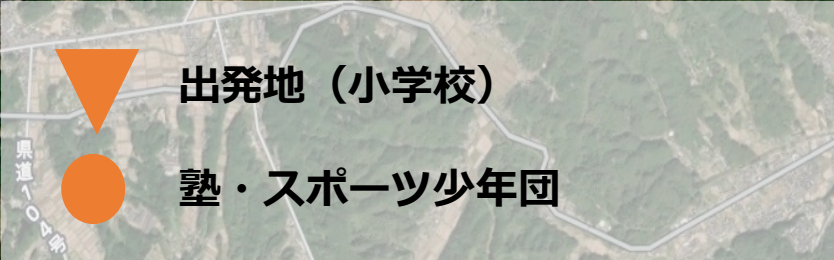
時間 平日16時～18時（定時運行）

その他 乗車前日予約（LINE利用）



令和6年11月18日試験運行開始
「i-Chanキッズサポート」会員児童とその保護者

移動支援ルート（概要）



運行時間・経路

運行時間（月・火・木のみ）

①北方駅 発（乗車）	16:40
②北方小学校 発（乗車）	16:50
③北方公民館 発（乗車）	16:55
④馬神公民分館 発（乗車）	17:00
⑤御船が丘小学校 着（降車）	17:20
⑥各学習塾 着（降車）	17:25

②武雄市立北方小学校

④馬神公民分館

③北方公民館

①北方駅

⑥指定塾

⑤武雄市立御船が丘小学校

運行経路

北方駅ー北方小学校	1.96Km
北方小学校ー北方公民館	1.58km
北方公民館ー馬神公民分館	0.79km
馬神公民分館ー御船が丘小学校	6.94km
御船が丘小学校ー各学習塾	1.35km
経路 総距離	12.62km

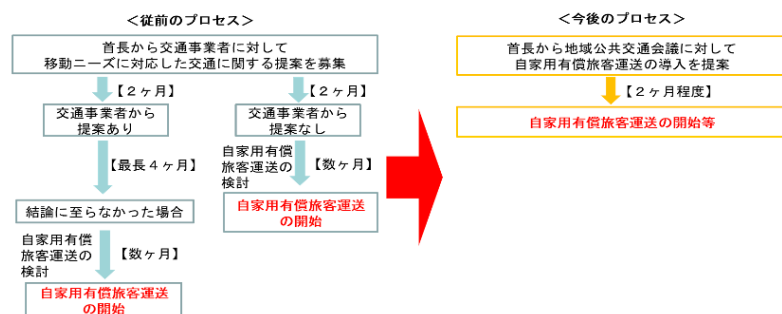


- 一般社団法人全国自治体ライドシェア連絡協議会
- 「i-Chan」 (あいちゃん)
- 全自連直営「i-Chanキッズサポート」 始動
- **公共ライドシェア**
「タクシーとの共同運営の仕組み」
- この半年で見えてきた課題

自家用有償旅客運送制度(道路運送法78条2号)の運用改善②

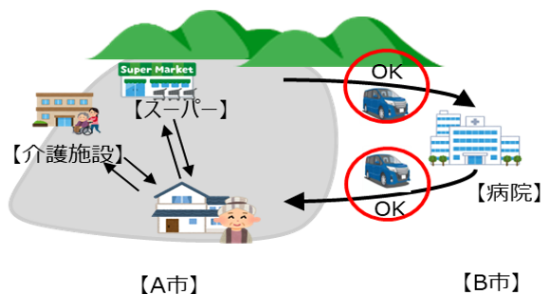
地域公共交通会議の運営手法の見直し

- 地域公共交通会議で2か月程度協議してもなお結論に至らない場合には、協議内容を踏まえ首長の責任により判断できることを通達上明記



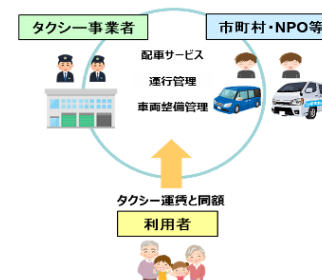
運送区域の設定の柔軟化

- 運送区域外の目的地への往復を可能とする必要性が高いことから、発地又は着地のいずれかが運送区域内にあればよいことを通達上明記



タクシーとの共同運営の仕組みの構築

- タクシーサービスの補完として自家用有償旅客運送を活用するため、タクシー事業者と市町村・NPO等との共同運営（タクシーサービスと自家用有償旅客運送サービスとの一体的な提供）が可能であることを通達上明記



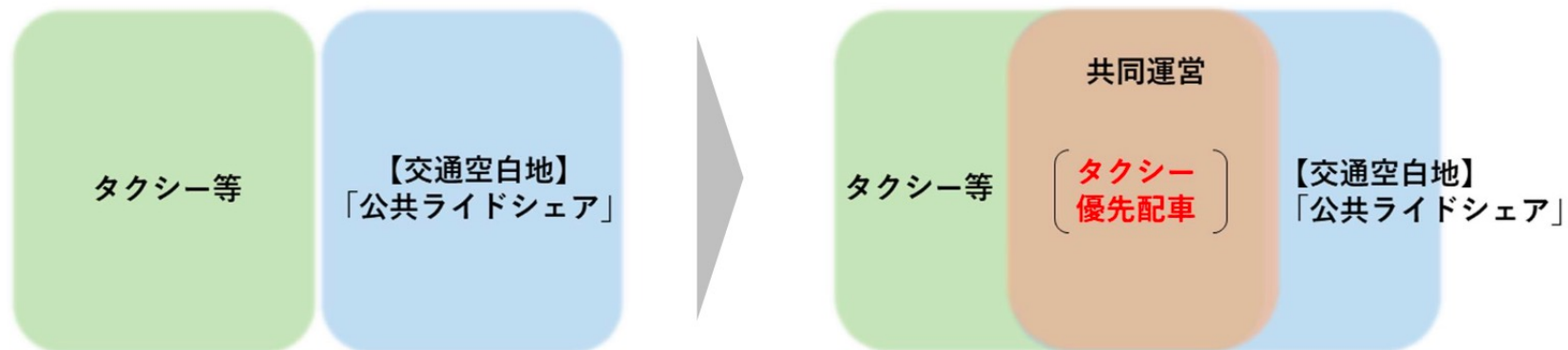
ダイナミックプライシングの導入

- 一定のダイナミックプライシングを導入するため、以下の事項を通達上明記

- ① 通常収受することとなっている対価に対して、5割増を上限、5割引を下限として、柔軟に対価の額を設定することが可能。
- ② 手法としては、
 - ・対価の額をリアルタイムに変動させる
 - ・対価の額が変動する時間帯や要件をあらかじめ決定するのいずれも可能。
- ③ 一定期間に収受した対価の総額は、「実費」の総額の範囲内でなければならないことから、これを3ヶ月ごとに確認。

タクシーとの共同運営の円滑な実装

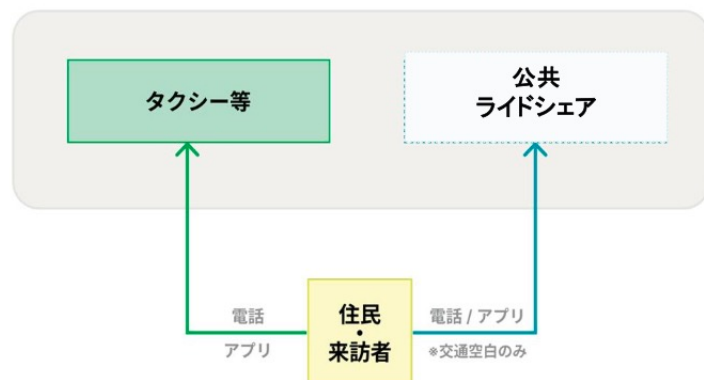
タクシーとの共同運営（イメージ）



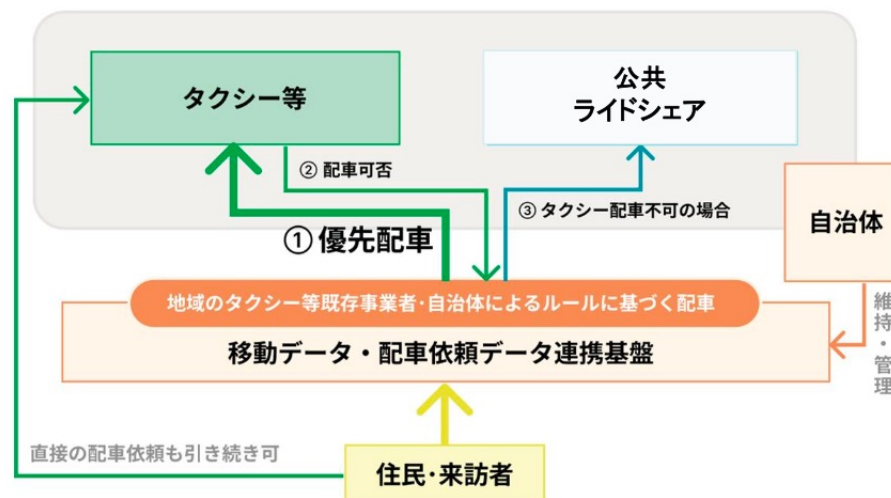
タクシーとの共同運営の円滑な実装

タクシーと公共ライドシェアとを一体的・効率的に配車することを可能とするシステムを、（一社）全国自治体ライドシェア連絡協議会（全自連）において開発中

現在



令和6年度中



- 一般社団法人全国自治体ライドシェア連絡協議会
- 「i-Chan」 （あいちゃん）
- 全自連直営「i-Chanキッズサポート」 始動
- 公共ライドシェア
「タクシーとの共同運営の仕組み」
- **この半年で見えてきた課題**

この半年で見えてきた課題

(官民連携PFに期待すること)



ライドシェア含む制度の
内容・最適解が分からない

全自連が国と連携し
公共交通の勉強会、
直営事業と横展開推進



地域交通に係る
費用負担が大きい

国・自治体の補助拡充、
データ分析・利活用
による事業改善



ドライバー不足、
公共心だけでは続かない

「労働力シェア」の発想、
働き手・担い手目線の必要
な工夫（最低賃金保障等）